

活動名	はんだラボ ～電子工作でマスコットをつくろう～
代表者氏名・所属	安齊クレア：理学専攻 情報科学コース M2
構成員氏名・所属	甲藤仁美：理学専攻 情報科学コース M2 椎尾研究室 有志メンバー Rijowarts

近年、理系分野への関心の高まりから科学館でのワークショップや講習会が多数開催されています。しかし、これらの取り組みは前提知識のある人や低年齢層を対象にしているものが多く、女性はなかなか参加しづらいという現状がありました。また、内容も技術を学ぶことがメインとなっており、成果物の見た目や使用用途にこだわりがないため、女性が行動を起こす動機になるような要素がなく、魅力的ではありませんでした。

そこで、女子大という条件を活かし、普段理工系技術に触れる機会のない女子学生に、私たち理系大学院生が講師となりワークショップを開催することで、興味があっても敬遠しがちであった工学技術を気軽に体験するきっかけになるのではないかと考えました。

以上の背景から、2015. 11. 25 に女性向け電子工作ワークショップ「はじめてのはんだ付け体験～光るバッグチャームを作ろう～」を開催しました。女子学生にとって魅力のある教材にするため話し合いと試作を重ねた結果、円形の亚克力板に各自持ち寄ったイラストを転写し、自分好みの LED とチェーンを付けて完成させる光るバッグチャームを製作することにしました。簡単なはんだ付け作業でオリジナルのアクセサリを製作することで、理系、特に工学分野の内容に親しみをもってもらうことを目的としました。当日は学部生を中心に7名が参加しました。

参加者からは、

- 大学ではなかなか味わえない図画工作感がとても楽しかったです。滅多に理系の、しかも先輩方と関わることはないので、交流できるのも良かったです。
- LEDの色やチェーンの色を選ぶことができたのがとても楽しかったです。
- 親切に分かり易く説明していただいたので思っていたより簡単にできました。また、似たような企画があれば参加したいと思います。

といった感想をいただきました。参加者には文系の学生も多く、本企画の目的が達成されたと考えます。また、講師も生徒が務めたことで思いがけない交流の機会となり、文理や学年の枠を超えた、講師役の学生にとっても面白い経験となりました。今後も、女性と理系分野を繋ぎ、広めていく活動を続けていきたいと思ひます。

